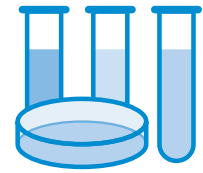


## 細菌検査統計報告 (当検査センター受託分)

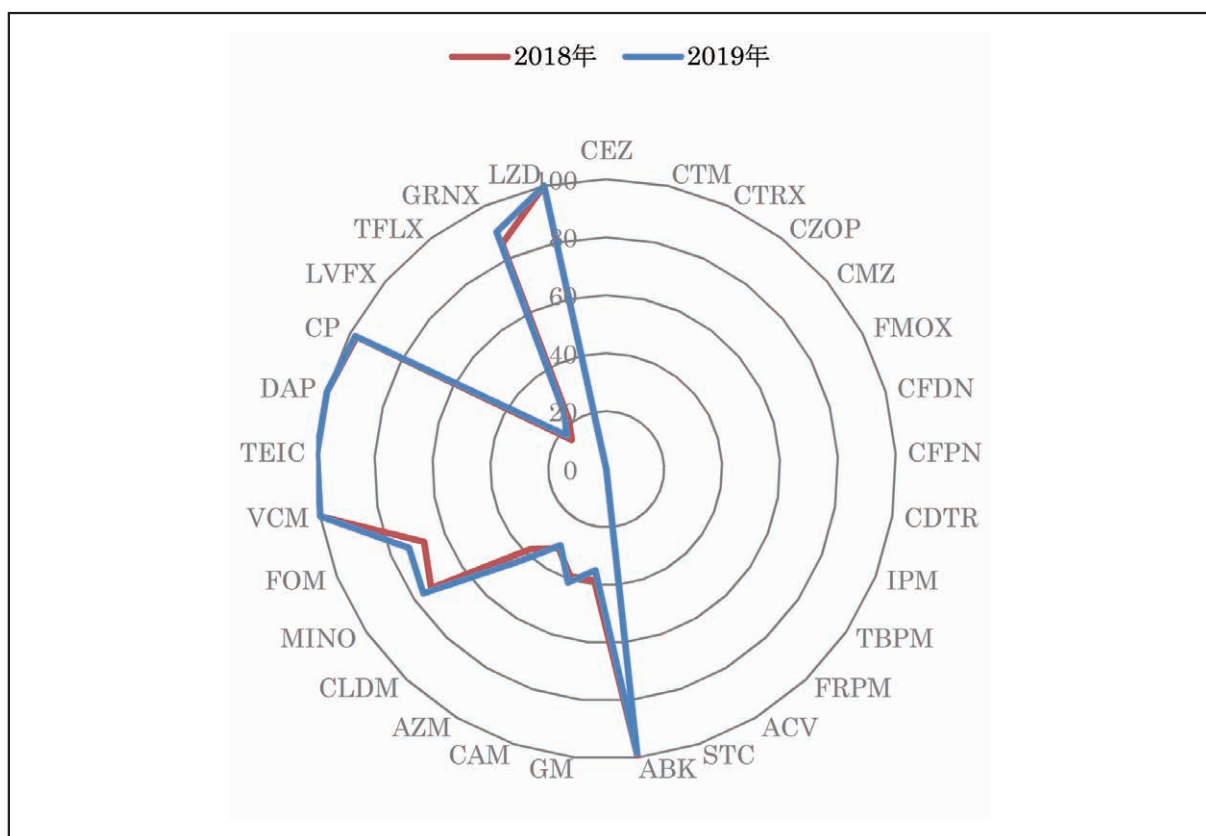


当検査センターで受託した細菌検査における細菌検出状況及び細菌薬剤感受性情報を一部取り上げご報告いたします。全体の情報は当検査センターホームページに掲載されていますので、併せて診療にお役立ていただけたら幸いです。

今回は、メチシリン耐性黄色ブドウ球菌(MRSA)の薬剤感受性情報と耐性率を掲載いたします。

### 【薬剤耐性菌分離状況】

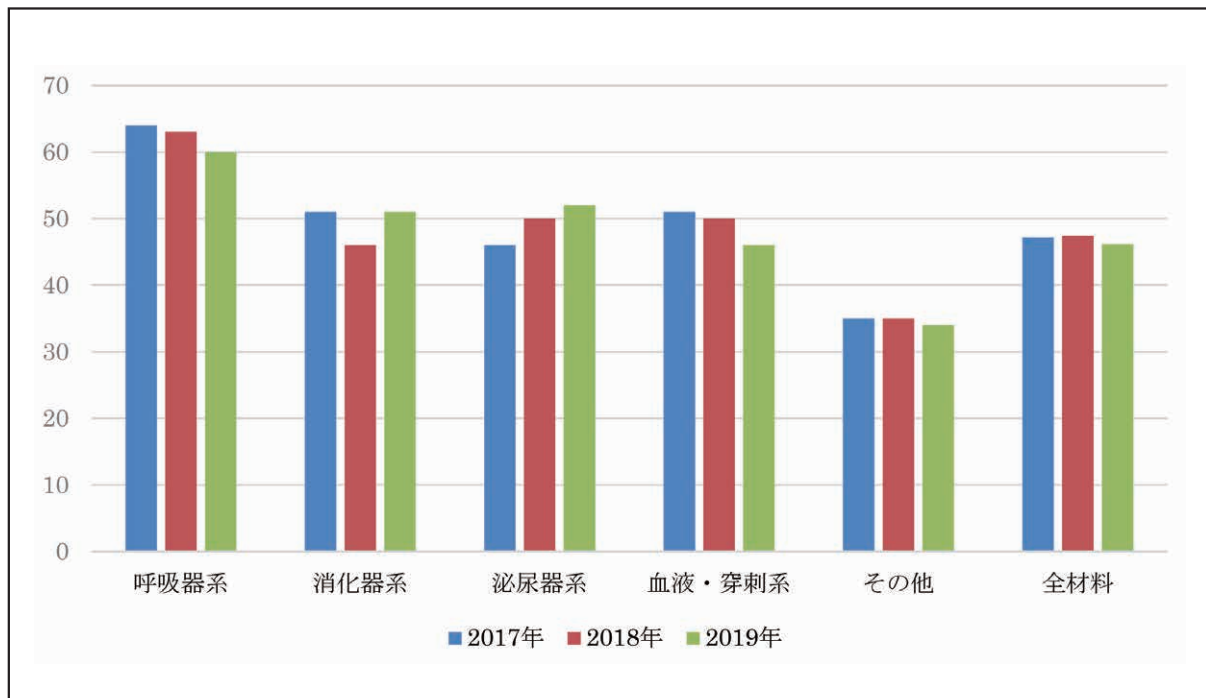
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌(MRSA)の薬剤感受性率(2018年、2019年)



メチシリン耐性黄色ブドウ球菌(MRSA)は染色体上に mecA という耐性遺伝子をもち、βラクタム系薬剤の細胞壁合成阻害に抵抗を示します。

当検査センターで2018年、2019年に検出したMRSAの薬剤感受性率を比較すると、大きな変化は見られませんでした。

検査材料別の黄色ブドウ球菌メチシリン耐性率(2017年～2019年)



$$\text{耐性率} = (\text{材料別MRSA 件数}) \div (\text{材料別黄色ブドウ球菌件数}) \times 100$$

上記のグラフは、当検査センターで2017年～2019年の間に検出された黄色ブドウ球菌のメチシリン耐性率を検査材料別で示しています。

全材料では2017年、2018年と比較して2019年は約1%耐性率が減少しています。材料別にみると呼吸器系材料の耐性率が最も高く、約60%がMRSAとなっています。泌尿器系ではやや増加傾向にあり、今後の動向に注意が必要です。

※当検査センターホームページでは詳細な細菌検出状況(検査材料別)、細菌薬剤感受性情報(菌種別)、薬剤耐性菌分離状況についての情報をご覧ください。 <http://www.labo.city.hiroshima.med.or.jp/>

検査科微生物係